

2021年度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(一般入試(前期日程):筆記試験(教職教養))

問 題 用 紙

注 意 事 項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 次の文章は、中学校学習指導要領（平成29年3月告示）の第1章総則の「第2 教育課程の編成」の項にある「(2) 授業時数等の取扱い」に関する文である。(①) ~ (③) に当てはまる数字や語句をそれぞれ解答欄に書きなさい。

- (1) 各教科等の授業は、年間 (①) 週以上にわたって行うよう計画し、週当たりの授業時数が生徒の負担過重にならないようにするものとする。ただし、各教科等や学習活動の特質に応じ効果的な場合には、夏季、冬季、学年末等の (②) の期間に授業日を設定する場合を含め、これらの授業を特定の期間に行うことができる。
- (2) (③) の授業のうち、生徒会活動及び学校行事については、それらの内容に応じ、年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てるものとする。

問2. 以下の文章の空欄 (①) ~ (⑤) に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

- (1) 明治政府は、1872年に学制を公布し近代国家にふさわしい教育制度を開始することになった。1879年には、(①) によって教育令が公布された。教育令は自由主義的な性格をもち、義務教育年限を少なくとも16か月とした。しかし、翌年には、強固な国家統制を旨とした改正教育令が公布され、就学義務年限を小学校3年間とし、小学校の学科の冒頭に (②) を置き、優れた教員養成のため府県へ明確な (③) の設置義務を示した。
- (2) 第三次まで続いた教育令も、1886年、初代文部大臣 (④) によって廃止され、帝国大学令、(③) 令、小学校令、中学校令、諸学校通則の5単行勅令として学校令が施行された。また、義務教育年限が明確化され、尋常小学校の (⑤) 年間とされた。

問3. 次の文章は、平成28年12月に中央教育審議会が取りまとめた「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」の一節である。(①) ~ (③) に当てはまる語句を解答欄に書きなさい。

資質・能力のバランスのとれた学習評価を行っていくためには、指導と評価の (①) を図る中で、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動に取り組みせる (②) 評価などを取り入れ、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていくことが必要である。さらには、総括的な評価のみならず、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における (③) 的な評価を行い、子供たちの資質・能力がどのように伸びているかを、例えば、日々の記録やポートフォリオなどを通じて、子供たち自身が把握できるようにしていくことも考えられる。

問4. 以下の3つの問いについて、それぞれに当てはまる記号を解答欄に書きなさい。

(1) 人と集団の係わりを理解する概念である準拠集団（関係集団）に関する以下の記述の中から、誤っているものはどれか。

- ア. 人種や性などの固定的な属性に係わる集団は準拠集団とならない。
- イ. 準拠集団は、個人に的確な意見や行動の仕方などの基準を示す。
- ウ. 準拠集団と成員集団（メンバーシップ・グループ）は、一致することが多い。
- エ. 準拠集団は、個人に状況の理解や自己評価のための枠組みを提供する。
- オ. 一人の人が複数の準拠集団を持つ場合がある。

(2) 「エリクソンの発達論」の記述として、最も適切なものはどれか。

- ア. 道徳性を正義と公平さであるにとらえ、正義と公正さに関する考え方を3水準6段階に集約している。
- イ. 発達を構造の変化過程とみなし、認知発達を4つの段階に分類し、同化と調節を繰り返すことで、それぞれの発達段階における認知的構造が均衡していくとする。
- ウ. 発達の水準を、現在既に到達している水準と、援助があれば到達可能な水準とに分け、これら2つの水準の差を発達の最近接領域と呼び、最近接領域に適切に働きかけることが教育の課題であるとする。
- エ. 乳児期から老年期まで8つの段階に分類し、各段階に固有の課題を想定し、その課題を解決していくことによって健全なパーソナリティーが形成されるとする。
- オ. 幼少期の体験や自我の発達を重視し、心理的発達を5つに分類し、ある段階のリビドーは十分に満たされると次の段階に進むが、十分に満たされないとその段階に心理的に「固着」して円満な発達ができなくなり、さまざまな不適応がもたらされるとする。

(3) 「多くの精神病患者の体型を観察し、精神病の特徴と体型の間には関連があると考え、体型と性格の関係に基づく性格類型論を提唱した。それぞれ、細長型は分裂質、肥満型は躁うつ質、闘士型は粘着質に対応する。」この記述に該当する研究者は誰か。

- ア. ギルフォード
- イ. クレッチマー
- ウ. クレペリン
- エ. シェルドン
- オ. ユング

問5. 以下の(A)～(D)のそれぞれの領域について、いずれかの語句を選び、その説明を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ語句をそれぞれ記入すること。

領域(A) (教育原理)

- Teach for America
- PISA型読解力

領域(B) (日本教育史)

- 赤い鳥
- 寺子屋

領域(C) (教育法規)

- 学校保健安全法
- GIGAスクール構想

領域(D) (教育心理)

- 非認知能力
- 発達性協調運動障害

2021年度 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻入学試験
 (一般入試 (前期日程) : 筆記試験 (教職教養) 解答用紙)

受験番号					
氏名					

採点欄

問1	①	②	③		
問2	①	②	③	④	⑤
問3	①	②	③		
問4	(1)	(2)	(3)		

この右の枠内には、何も書き込まないでください。

問5

領域 (A) 選択語句名

説明

領域 (B) 選択語句名

説明

領域 (C) 選択語句名

説明

領域 (D) 選択語句名

説明
